



市が実現に向けて取り組んでいる「国際リニアコライダー（以下、ILC）計画」について最新情報をお届けします

希望の ひかり

第36回

ILCシンポジウム「ILC実現と地域社会の展望」
（いわてILC加速器科学推進会議主催）が6月11日、
市文化会館（Zホール）で開催されました。今回は、こ
のシンポジウムの講演要旨などを紹介します。

基調講演「ILCと地方 創生」

ILC計画は各機関での取
り組みにより、実現に向けて
良い方向に進んでいるが、今
後は、関係するそれぞれの立
場はどういう地域を作るべき
かを検討する必要がある。

ILCの建設の費用・人材
の国際分担は各国で統一した
やり方で行う必要があり、世



界中の研究施設の分室を置き、
全体の費用負担を抑える形を
目指すのがよい。

居住環境面は大規模整備で
はなく、今あるものを活用し
つつ足りないものを補う方向
がよい。

多文化共生はそれぞれ意識
の壁があり、なかなかすぐ
に進まない。現在ILCキャ
ラバンという形で、各地域で
在住外国人を講師に、国際化
に関する取り組みをしており、
徐々に県民の意識を変えてい
きたい。

産業面はILCに活用され
る加速器技術がさまざまな分
野で有効活用されており、I
LCが実現し、さらに性能が

上がることでもっと多くの産
業に活用できる。またILC
では多くの電力を必要とする
が、省エネルギーおよび排エ
ネルギーの有効活用について
も検討を進めている。――
岩手県立大学・鈴木厚人学長

パネルディスカッション

東北大学・岩手大学の吉岡
正和客員教授がコーディネー
ターを務めたパネルディス
カッション「わがまちの未来
絵図とILC」では、平泉ナ
ンバーエリアの4市町の首長
らが、まちの将来像やILC
との関わりについて意見を交
わしました。

勝部修・一関市長 雇用の創
出につなげたい。地元の熱意
を中央の人に届けるために、
情報発信のあり方を戦略的に
取り組まなければならない。



「ILCと羽田の未来 を考える」意見交換会

市ILC推進連絡協議会お
よび羽田地区振興会は6月18
日、ドイツ・マインツ大学の
齋藤武彦教授を講師に、羽田
地区センターで地区住民を対
象とした意見交換会を開催し
ました。

齋藤教授は、ドイツの研究
機関での経験から、ILCに
よって地域がどう変わるかに
ついて講演。参加者からはさ
まざまな意見・質問が出され、
活発な意見交換となりました。



齋藤教授の話に聞き入る参加者

ILC出前講座

市は、ことし4月に策定した「奥州市ILCまちづくりビジ
ジョン」の説明を含め、地域などの依頼に応じて随時、出前
講座を行っています。ILCについて知りたいことがありま
したら、お問い合わせください。

本コーナーでは、ILC計画について皆さんからの質問にお答えします。電子メール、ファクスでお気軽に質問ください。
■問い合わせ先 本庁政策企画課ILC推進室（内線412・415、FAX 25533、E-ILC@city.oshu.iwate.jp）